

岐阜県生活技術研究所は、
快適な生活空間の創出と地域産業振興のために
新材料・新製品の研究と技術支援を行っています。

- 新所長あいさつ
- 研究成果発表会のご案内
- 平成29年度研究テーマのご紹介
- 技術支援業務のご案内

新所長あいさつ | より一層のご活用をお願いします

生活技術研究所長 林 哲郎

この度、人事異動により産業技術センターから生活技術研究所の所長として着任いたしました。木材・家具業界等の企業の皆様のために、微力ながらもお役にたてるよう尽力したいと考えております。

近年は、消費者のニーズや価値観が多様化しておりますが、それに応えるために分野を問わずさまざまな技術が木材・家具業界にも取り入れられつつあります。当研究所では最新の技術動向に注目しつつ、尚一層現場に密着し、業界のニーズを取り入れ、地域ブランドの向上に寄与するべく技術支援に努めてまいります。

今年度の研究課題としては、以下に示しますように、人の快適性を重視した製品・住環境・木質材料に関するテーマを実施していきます。また、企業ニーズをとらえた課題設定や企業・大学との共同研究を進め、積極的な成果の技術移転に努めます。

また、技術支援としましては、依頼試験・開放試験機器利用のサービスを始め、日々の技術相談に誠実かつ迅速な対応に努めますので、一層のご活用をお願いいたします。

今年度も職員一同、県内企業および県民の皆様のご期待にこたえるよう努力し、社会的価値のある研究所を目指しますので、よろしくをお願いいたします。

研究成果発表会のご案内 | ぜひご参加ください

[担当：三井]

下記のとおり研究成果発表会を開催いたします。今年度は名古屋大学 佐々木康寿教授による『都市の木質化』についてのご講演と当研究所で実施した研究成果の発表・展示を行います。

開催案内

日時：6月16日（金）13:30～16:30

13:00より受付

会場：飛騨総合庁舎 大会議室

高山市上岡本町7-468

TEL: 0577-33-1111

第一部 講演会 13:40～14:40

都市の木質化ー森林と都市の持続的調和ー

名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授

佐々木康寿氏

第二部 研究成果発表会 14:50～16:20

① 家具用材へのアセチル化の試みとアセチル

化度の可視化・・・主任専門研究員 三井勝也

② 木質フラッシュパネルの反り変形抑制の

検討・・・専門研究員 今西祐志

③ セルローズファイバーを主材料とした住宅

用断熱材の開発・・・専門研究員 木村公久

④ 高齢者の身長に配慮した椅子の提案・・・

専門研究員 宮川成門

⑤ 学習机の天板の傾斜角と差尺が作業のしやす

さに与える影響・・・主任研究員 山口穂高



昨年度の成果発表会の様子

参加方法

資料等の準備の都合上、事前申し込みにご協力ください。当日参加も可能です。

ホームページにてご案内している申込書に必要な事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

参加費：無料 申込期限：6月12日（月）

詳細はホームページにてご確認ください。

🌐 | www.life.rd.pref.gifu.lg.jp

📍 | 岐阜 生活研



平成29年度研究テーマのご紹介 | 新規4テーマがスタートします



ヘルスケア市場に向けた 座位目的別の家具開発¹⁾

介護者・被介護者の立場からの調査を通して、食事や休息などの目的に応じた椅子の開発を目指します。(H26-30)



香りでやすらぐ 木工製品の開発¹⁾

桧を乾燥する過程から、副産物としての抽出物を回収し、香りを活かした木製品の開発を目指します。(H27-31)



NEW

家具用曲げ木の 製造現場におけるスマート化¹⁾

飛騨地域の木製椅子の特徴である曲げ木加工の各工程の数値管理により不良率の減少を目指します。(H29-32)



低環境負荷素材を用いた 建築用断熱材の開発²⁾

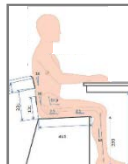
古紙由来のセルロースファイバーと木質系材料を混合した新しい断熱材の開発を目指します。(H27-29)



NEW

軽量で高剛性な 木質パネルの開発²⁾

より軽量で剛性が高い木質パネルを開発し、効率的な木質パネルの設計手法の提案を目指します。(H29-31)



体格や好みに合わせた家具製品の カスタマイズ技術に関する研究³⁾

人間工学の視点から、体格や好みに合わせた家具製品を提案する技術の確立を目指します。(H28-30)



子どもに適した家庭用家具の 設計指針に関する研究³⁾

学習机や椅子の使いやすさの評価実験により、子どもに適した家具の設計指針の導出を目指します。(H27-29)



NEW

日本の伝統素材を用いた 木材の耐久性向上技術³⁾

ベンガラや柿渋等を木材に含浸させる技術を検討し、高い耐久性を持った木材の開発を目指します。(H29-31)



NEW

レーザー加工機を用いた 立体形状切削の研究³⁾

各種木材に対応したレーザー加工条件を導出し、簡易に立体加工ができる技術の開発を目指します。(H29-31)

(括弧内は研究実施期間の年度を表記)

¹⁾プロジェクト研究：業種横断的な連携を推進

²⁾重点研究：地域産業の高度化を推進

³⁾地域密着研究：現場の技術的課題解決を推進

技術支援業務のご案内 | ご活用ください

当研究所では下記の技術支援を実施しています。お気軽にお問い合わせください。

● 技術相談

来所や電話による技術的な相談に応じます。

● 企業ニーズ調査

企業ニーズを収集し、技術支援に反映します。

● 巡回技術支援

企業を訪問し、課題解決の支援を行います。

● 緊急課題技術支援

緊急性の高い課題の解決を支援します。

● 新技術移転促進

開発した新技術を企業へ移転します。

● 受託研究 (有料)

企業からの委託を受けて、研究を行います。

● 研修・講習会の開催 (一部有料)

企業の方に対する人材育成を支援します。

● 研修生の受け入れ

当所の技術や設備を活用した研修を行います。

● 依頼試験 (有料)

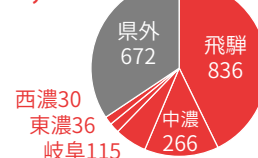
試験や分析を行い、成績書を発行します。

活用事例

木質材料の物性試験
ホルムアルデヒド測定
塗膜性能試験
いす・テーブルの強度試験
棚の強度試験
体圧分布測定 など

昨年度実績

1,955 件



● 開放試験室 (有料)

設備や機器の開放利用を行っています。

使用機器

恒温恒湿器・環境試験室
音響特性評価装置
万能試験機
デジタルマイクロスコープ
顕微FT-IR
木工機械 など

昨年度実績

654 件

